

18) 振動

評価項目	視点	平成 26 年度の調査結果概要	評価概要
工事振動の影響	・ 工事前後の比較 ・ 振動規制法との照合 ・ 火薬学会規制値との照合	・ 環境振動は工事施工前が平均 27dB、工事施工中が 22～30dB。 ・ 特定建設作業振動(L10) の H26 年度は 25～36dB。 ・ 発破振動(ピーク値)は 42～68dB。	・ 環境振動は、工事施工前後で環境騒音に大きな変化は見られない。 ・ 特定建設作業振動は、基準値 75dB を下回る値であった。 ・ 発破振動は、管理値 75dB を下回る値であった。



調査実施日	調査対象		調査地点	備 考
	交通振動 (6:00～22:00)	工事振動 (対象工程)		
H23.12.28	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.3.15	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.11.6	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.2.27	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.3.14	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.9.11	—	発破	St.1、St.2	試験施工
H25.11.8	○	鋼矢板打設	St.1、St.2	特定建設作業
H25.11.12	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H26.1.27	—	発破	St.1、St.2	
H26.1.31	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.7	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.20	○	構造物取壊し 発破	St.1、St.2	特定建設作業
H26.12.8	—	発破	St.1、St.2	
H26.12.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.12.11	○	構造物取壊し 発破	St.1、St.2	特定建設作業
H27.1.29	—	発破	St.1、St.2	
H27.1.31	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業

